



1 楽しい授業が学び深める!



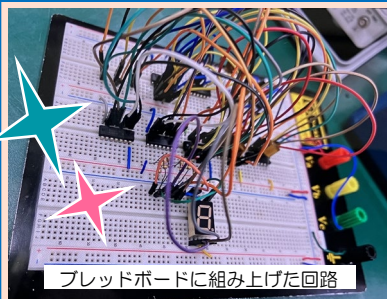
ロボットの調整をする学生

モノのIT化等を学ぶ情報システムコースの1年生は、ロボットのプログラム制御に熱心に取り組んでいます。感想は次の通りです。

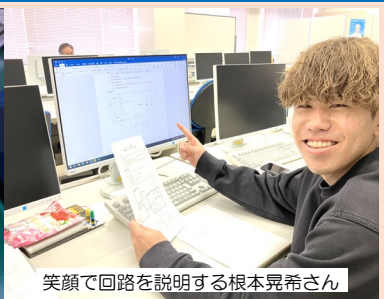
- 村澤伸哉（勝田工高卒）さん
「制御プログラムは、独特の見方・考え方が必要だと感じた」
- 富永誠也（太田一高卒）さん
「ロボットは、プログラム通りに動かない。現場合わせが大切」
- 飛田美優（勝田工高卒）さん
「プログラムを調整し、きついカーブでも走りました」



2 これまでの学びを実践力に

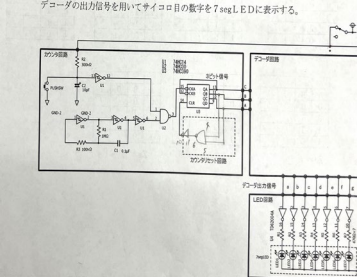


ブレッドボードに組み上げた回路



笑顔で回路を説明する根本晃希さん

1. 目的
数字をカウントする発振回路、カウンタ回路とサイコロ目の数字を7segLED表示器に表示するデコーダ回路を組み合わせて電子サイコロ回路を作成し、数字カウントの原理を理解する。
2. 回路全体構成と構成
ポタンススイッチを押している間、サイコロ目に相当する1〜6の数字をカウントし、スイッチを離したときのカウンタ値を表示することにより電子サイコロを実現する。



情報セキュリティコース2年の根本晃希（常磐大高卒）さんは、卒業後に関東職業能力開発大学校に進学します。本校での学びに加え、IoT技術を視野に、ハードウェアとソフトウェアの融合技術の研究をしたいと考えています。この日は、7セグLEDによる電子サイコロ回路をブレッドボードで組み上げ、動作を確認していました。根本さんは「これまでのプログラミングや電子回路の知識を活かし、実践力を高めていきたい」と笑顔で意欲をみなぎらせていました。

3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

<記事トレ> 読売新聞 (2025年2月7日) 『知のインフラ』 守ろう

●野村未結さん（水戸二高卒）

◇要約：近年、書店の数が急速に減っている。書店は図書館と比べて旬の本を並べ、時代の空気を教えてくれる。ネットより一覧性に優れ検索ではたどり着かない本との偶然の出会いを提供できる。

キャッシュレス決済での手数料軽減や図書館との連携などを複合的に取り入れ、息の長い取り組みにすることが必要だ。
◇感想：最近、スマホのアプリで漫画を読んだり、小説を読んだり、オーディオ再生したりと紙を使うことがなくなってきている。ネットで十分と考えれば興味の幅が狭くなる。また、大人になった時に話が分からなくなることも心配である。

●村澤伸哉さん（勝田工高卒）

◇感想：資格試験取得の勉強のための参考書を買いに時々本屋に行くが、手に取って触れることができ、ネットにない楽しさがある。書店には不特定多数の本があり、他の分野にも興味を持つかもしれないので、書店を残していくことが重要だと思った。

●土肥綺音さん（中央高卒）

◇感想：書店は本との出会いを生む大切な場であるが、店舗数が減っている。政府の支援策は斬新だが、継続的な取り組みが必要だ。本を買う文化を守るため、私たちも書店を積極的に利用していく意識を持つべきだと感じた。書店が残ることで、多様な価値観や知識に触れられる社会を維持したい。

●永井海羽さん（日立商高卒）

◇感想：私は、本を買うときは書店に行くことが多いが、最近は書店に行くのが面倒になる。また、本棚を増やさずに済むので、ネットでの購入が増えた。だが、紙の本で読むのも好きなので書店がなくならないように、なるべく書店で買うようにしたい。

●高橋諒さん（勝田工高卒）

◇感想：本が好きでよく買うが、書店が減っている。利便性を考えると電子書籍の方がいいと思う。紙の本は質感や匂いなどが良い。勉強用の書籍だと復習に良いと思う。

